

## 名和公民館世界遺産研究会現地研修「中国雲南省を訪ねて」

名和公民館「世界遺産研究会」は昨年、アンコールワット・アユタヤへ現地研修をしましたが、今年は中国雲南省の3都市を訪ねました。

李子筈石林を視察。巨大な枯山

帰路、サニ族の村・七星村を見学。何もないしみじみとした印象。

訪問地で民間交流を行うため  
8月5日、関空を出発し広州空港で最初の人民元両替。さらに国内線で最初の目的地昆明に到着。途中関空で購入したウイスキーが機内持ち込み禁止を知り不自由な会話で何とか通過。翌日、風景区として人気の

次の日、龍門石窟の西山森林公園に登頂。ロープウェイで中間駅へ。ここから滑りやすく険しい山道の続く中を龍門に到達。帰路、雲南省民族村で24の少数民族の住居及び人々との触れ合い。

の東邑博物館、納西族世界遺産の束河村を訪問。寄付で建てられた小学校を訪問したが夏休みで生徒には会えず、中国寺院を連想させる校門を見学。学校管理者の好意により校内にも入れてもらつた。立派な物だ。黒龍潭（玉泉）公園の素晴らしい涌

この地最大の人口を持つ少數民族ペー族の町喜州の三方一照壁の町並みを視察。大理を出発昆明経由で広州泊。8月12日午後3時過ぎ閔空に到着一路米子へ。疲れたけれども楽しかった。

使つた農業体験、自然保護、文化活動など、多岐にわたる取り組みが評価されたものです。

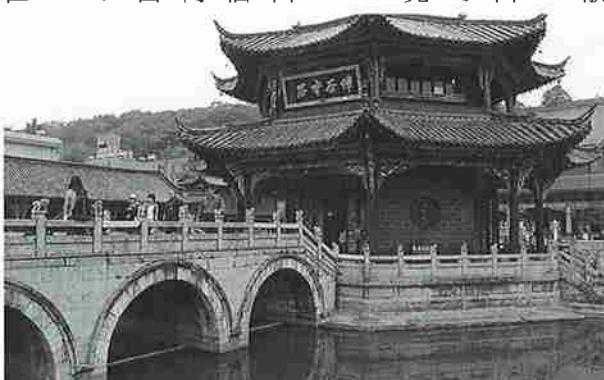
みどりの少年団の金川尚人さんと桜井由貴さんは参議院議長から授与された賞状を手に町長へ報告を行いました。

さんとはここでお別れ。

全国緑の少年団活動発表大会委員会



石林



圓通善寺



丽江古城



町長へ受賞の喜びを伝える金川さん（左）と桜井さん（中）